

# パークヒルズで見られる鳥



バードウォッチング

監修 高橋 洋介(L-1304)

はじめに

野鳥は、いちばん身近な野生生物です。

スズメやカラスも野鳥です。庭の木の实をつつきにくるシジュウカラも、公園の池にいるカルガモ、川にいるサギも人間が飼っているのではなく、自分たちの力で生きている野鳥です。身近であっても、実はよく知らない野鳥のくらし。

でも知ってみると意外なことばかりで、楽しい発見がたくさんあります。

鳥たちの様子に興味をもつと、朝や夕方、雨上がりに聞こえる鳥の鳴き声に気づいたり、「あ、ウグイスが鳴いた。春だな～」 「カモが飛んでいる。もう秋だな」と、鳥を通じて季節の移り変わりを感ずることもできます。野鳥のくらしと、そこにある自然に気づくこと。それがバードウォッチングの楽しみの第一歩です。

はじめはどこか遠くに行く必要はありません。野鳥がいることに1回気がつけば他の鳥も見つけることができます。

まずはパークヒルズの中を毎日見てみましょう。次にいつでも出かけられるような場所、例えば公園、神社やお寺、学校の校庭、池や湖、川などを見つけましょう。そうすれば水辺の鳥にも出会うことができます。できるだけ多く野外に出て野鳥をみるのが、野鳥にたくさん会えることにつながります。

「鳥の鳴き声=(イコール)さえずり」だと思っている人が多いかもしれませんが、しかし、鳥の鳴き声には「さえずり(song)」と「地鳴き(call)」の2種類があります。

「さえずり」とは、繁殖期にメスを呼んだり、なわばりを主張したりするオスの鳴き声で、ほぼ春~夏にしか聞くことはできません。美しい鳴き声は、オスとしての強さや魅力をアピールするもので、美しい羽色と同様、メスを惹きつけるための武器です。

一方、「地鳴き」は繁殖期以外に、警戒を伝えるためといった仲間とのコミュニケーションのために使われる鳴き声です。

## ●ウグイス

さえずり 「ホー ホケキョ」

地鳴き 「ジャツ ジャツ」「ジュ ジュ」

## ●スズメ

さえずり 「チュツチョン、スリツチョン」

地鳴き 「チュン」「チップ」「ジュン」

以下にパークヒルズで見られる鳥をご紹介します。何種類見つけることができるか挑戦してみてください。また、新しい鳥を見つけたら掲載しますので下記宛ご連絡ください。

連絡先:L-1304 高橋 洋介

# ハクセキレイ



全長:21cm 白いほお、澄んだ声 尾が長い セキレイの仲間。頭から背は黒色か灰色で、腹と翼は広く白色。広い河川、農耕地、市街地の空き地、駐車場など開けた環境を好む。鳴き声は、飛びながら「ピッ ピッ」と軽快に鳴きます。

# メジロ



スズメより小さく、  
上面が緑っぽい。  
目のまわりが白い。  
全長:12cm 常緑広  
葉樹 林を好み、北  
海道や山地では秋  
冬に暖地や低地に  
移動。チーと甘い  
感じの声。

# ウグイス



全長：♂16cm  
♀14cm 林のやぶ  
で繁殖し、秋冬は  
根雪のない地域の  
やぶにすむ。低い  
やぶの中で、ジャツ、  
ジャツと鳴く(地鳴  
き)。さえずり：ホー  
ホケキヨのほか、  
ケキヨケキヨを繰り返す  
こともある。

# シジュウカラ



全長15センチメートル  
の小形の鳥で、背面  
は青灰色、腹面は白く  
喉から胸、腹にかけて  
中央が帯状に黒く、こ  
の帯模様は雄のほう  
が雌より太い。平地か  
ら山地の林にすみま  
すが、市街地、住宅地  
で見ること多い鳥で  
す。細い声でツープー  
やツツピーを繰り返す。



# コゲラ



全長:15cm 太い木や古い木があれば、住宅地や公園でも見られるようになってきた。ギーという声の後にキツキツキツと続けて鳴くこともある。  
日本で一番小さなキツツキ。背はこげ茶色に白い点模様が沢山あります。

# カワラヒワ



全長:14cm肌色で  
太めのくちばし、翼  
と尾に黄色の斑。九  
州以北。林、草地、  
農耕地、河原に生  
息。オスのさえずり  
は「ジューイ」  
「ビーンビーン」  
「ヴィーヴィー」  
「チューン」など

# ジョウビタキ



全長:15cm 根雪のない地域に飛来。  
林の周辺、河川敷、市街地の空き地など、やや開けた環境を好み、1羽でいる。  
時々ピョコンとおじぎをして尾を震わせる。  
澄んだ声でヒッ、ヒッ、時にカッカッと低く鳴く。

# スズメ



人の居住するところ  
で普通に見られ  
る。体長は14～  
15cmほど。背中  
は茶色で黒の模様  
が少し混ざり、腹  
部は淡い茶色を  
しており、頬に  
黒班がある。

# ツバメ



全長 23cm。空中生活に適した流線形の体つきをした小鳥で、  
頸が短く、長くて先のとがった翼をもち、尾羽は一般に長く、燕尾形である。脚は短くて弱い。夏鳥として主に九州以北に飛来し  
(北海道では少数)、建造物に泥を材料にしたおわん型の巣をつくります。雄の尾は雌より細長く見えます。チュピッなどと鳴き、  
さえずりはチュチュビチュチュビジクジクビーと最後が濁ります。

# ムクドリ



黄色っぽい足とくちばし、短い尾。全長：24cm 翼開長：40cm 九州以北の農耕地、芝生など開けた環境に群れる。キュルキュル、ジャー、ツイツなどとさまざまな声を出す。

# ハッカチョウ



全長約27cm全体が黒色で、上嘴(くちばし)の基部に額冠がある。飛行時に翼の白斑(はくはん)が目立ち、あたかも八の字を示すので八哥(はっか)(哥は「歌」または「歌う」の意)の名がついた。鳴き声は、澄んだ声でさまざまな音をだす。ものまねもする習性がある。

# ツグミ



全長約24cm. 白っぽい眉、胸に斑模様のムクドリサイズの冬鳥。秋に林に飛来するが、冬には芝生、農耕地、河川敷などの開けた地上でも見る。小走りに移動しては立ち止まる。茶色味が濃いものと薄いものがあるクィクィまたはキュッキューと2声で鳴くことが多い。



# ヒヨドリ



全長:27cm 市街地から山地の林。秋に南西方向に移動する群れが見られる。目の下後方は茶色。興奮すると頭の羽毛を逆立てる。ピーヨまたはキーヨと甲高く、伸ばす声。

# キジバト



全長:33cm 翼開  
長:55cm翼や背に  
茶色のうろこ模様、  
首にしま模様。市  
街地から山地まで  
(北海道では夏鳥)  
雄はデッデ、ポッ  
ポーと低い声で繰  
り返し鳴く。

# ドバト



体に比べて頭が小さく、胸骨、胸筋が発達してずんぐりとした体型が特徴である。  
ポッポーと鳴く

# ハシブトガラス



全長：56cm 翼開  
長：105cm アジア  
の森林に分布す  
るカラスで山や林  
にすんでいるが、  
日本では人家の  
近くでも多い。ハ  
シボソガラスより  
やや大きく、額が  
出っぱって見える。